

# 2020年度 第20回 北海道シニアサッカーオープン大会

## 【 開 催 要 項 】

- |    |         |   |
|----|---------|---|
| 1  | 主 旨     | こよなく愛するサッカーを通じ、北海道のシニア年代の親睦と交流を深め、北海道シニアサッカーの発展に寄与すると共に、生涯スポーツの振興に資することを目的とする。  |
| 2  | 名 称     | 2020年度 第20回北海道シニアサッカーオープン大会   |
| 3  | 主 催     | 公益財団法人北海道サッカー協会、北海道シニアサッカー連盟  |
| 4  | 主 管     | 北海道シニアサッカー連盟、空知地区サッカー協会   |
| 5  | 後 援     | 夕張市、夕張市教育委員会  |
| 6  | 協 賛     | 夕張鉄道(株)   |
| 7  | 期 日     | 2020年8月22日(土)・23日(日)  |
| 8  | 会 場     | サングリンスポーツヴィレッジ(夕張市平和運動公園)4面 ふじスポーツ広場 2面   |
| 9  | 参 加 資 格 | (1) 本年度(公財)日本サッカー協会シニア種登録選手により構成されたチーム。女子は所属する種別のチームに登録された選手で、この大会のために構成されたチーム。<br>(2) 本年度、北海道シニアサッカー連盟に加盟しているチームとする。但し女子は除く。<br>(3) 40部門については、1981年(昭和56年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。<br>(4) 50部門については、1971年(昭和46年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。<br>(5) 60部門については、1961年(昭和36年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。<br>(6) 70部門については、1951年(昭和26年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。<br>(7) 女子部門については、1986年(昭和61年4月1日)までに生まれた選手によって構成されたチーム。<br>(8) 全ての部門及び部門間の重複登録を認めない。但し70部門は除く。<br>(9) 単独では構成できないチームに限り、道央・道南・道東・道北ブロック内での混成を認める。但し、北海道シニアサッカー連盟加盟登録チームの選手(女子は除く)とし、参加チームが多い場合は単独チームを優先する。70部門については混成・重複を認めるが、体に負担がかからないよう十分に注意すること。 |
| 10 | 参加チーム数  | 会場数に限りがあることから、予定数を超えた場合には抽選とする。   |
| 11 | 競技規則    | (1) 本年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。<br>(2) 競技者の数 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 11名(うち1名を GK)とし、7人未満となった場合は試合を不成立とする。</li><li>・ 交代要員の数:14名以内</li><li>・ 交代を行うことができる数:再交代を適用する<br/>(一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とする)</li><li>・ 役員の数:5名以内</li></ul>  |
| 12 | 競技方法    | (1) 基本的には総当たり戦とするが、参加状況に応じて変則リーグ戦またはトーナメント戦とする場合がある。<br>(2) 総当たり戦においては、勝ち3点、引分け1点、負け0点により、勝ち点の多い順に順位を決定する。なお、勝ち点が同一の場合は以下の項目に従い順位を決   |

定する。

I 全試合の得失点差(総得点－総失点)

II 全試合の総得点

III 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)

IV コイントス

(3) ボールは40部門普通5号球。60・50部門は軽量5号球(400g)70部門は軽量5号球(380g)を使用する。

13 懲 罰

(1) 本大会は(公財)日本サッカー協会の「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

(2) 大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

(3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できない。それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

(4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近の公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(5) 棄権試合、不正等が発見・確認された場合は0対5とし、その後の処置については、大会規律委員会で決定する。また、本開催要項に記載事項のない懲罰に関する事項も、大会規律委員会で決定する。

14 参 加 申 込

(1) 参加申込書の登録選手数は25名までとする。登録選手以外の出場は認めない。

(2) 申込締切日 2020年7月27日(月)17時必着

(3) 大会参加料 22,000円(税込)・・・下記③の指定口座まで納入。

※ 但し、70部門については 11,000円(税込)とする。

(4) 審判不帯同料 16,500円(税込)・・・下記③の指定口座まで納入する。ただし、この大会はシニア連盟主催の自主運営のため、出来る限り審判員を帯同させること。

(5) 参加するチームは所定の申込用紙により、必ず所属する地区サッカー協会へ、Eメールにて送付すること。

(6) 申込を受けた地区サッカー協会は期日までに①②まで申込手続きを行うこと。

①(公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター

TEL:011-825-1100 FAX:011-825-1101

●参加申込書

●プライバシーポリシー同意書

②北海道シニアサッカー連盟 事務局長 伊東美智子

Eメール: smrs-ito@taupe.plala.or.jp

TEL: 090-3778-4706 FAX: 011-778-9761

○参加申込書

③大会参加料・審判不帯同料振込先

北洋銀行 本店営業部 (普)5278500

口座名 北海道シニアサッカー連盟 大会申込口

15 組 合 せ

(1) (公財)北海道サッカー協会において厳正なる抽選を行う。

(2) 組合せ結果は(公財)北海道サッカー協会 HP「大会情報→シニア」で確認する事。<http://www.hfa-dream.or.jp/>

(3) 同じ地区より2チーム以上出場しているチームはブロック分けとする。

16 帯同審判員

(1) 参加チームはJFAサッカー公認審判員(4級以上)を3名以上を帯同。審判員の氏名、資格、連絡先等を参加申込書に記入すること。大会当日は審判証を提示する事。但し70チームは除く。

(2) 選手・役員が審判員を兼務する場合は、審判業務を最優先とすること。

17 選 手 登 録

(1) 選手の登録変更は大会の15日前、2020年8月7日(金)17時までに、所定

|                     |   |
|---------------------|---|
| 変 更                 | の変更届けにより、地区協会を通してEメールにて14①②に届けること。  |
| 18 ユニフォーム           | (2) (公財)北海道サッカー協会への追加登録は、大会の15日前、2020年8月7日(金)17時まで当協会に登録を完了した選手とする。<br>(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を厳守すること。(ユニホーム規程はHKFAホームページに掲載)  |
| 19 監督会議             | (1) 当日、監督が欠席の場合には、必ず代理をたてなければならない。<br>(2) 期 日： 2020年8月22日(土)午前8時30分<br>(3) 会 場： サングリンスポーツヴィレッジ(夕張市平和運動公園)<br>第一競技場前管理棟及びふじスポーツ広場 会議室  |
| 20 開 会 式            | 上記、監督会議と兼ねる。  |
| 21 閉 会 式            | 期 日： 2020年8月23日(日)各部門終了後に各会場で行なう。   |
| 22 負 傷 及 び<br>事故の責任 | 大会期間中の負傷及び事故の責任は当該チームが負うものとする。また、医師及び救急用品の準備は各チームの責任において行うこと。   |
| 23 そ の 他            | (1) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者とミーティングを実施する。<br>(2) 登録選手は(公財)日本サッカー協会発行の選手証を監督会議に持参すること。但し、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。※選手証とはWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはパソコンやスマートフォンの画面に表示したものを示す。選手証が確認できない場合は試合に出場できない。<br>(3) 本大会要項に規定されていない事項が発生した場合には、北海道シニアサッカー連盟において協議の上決定する。<br>(4) 参加選手は自己責任のもと健康状態には特に注意し、事前に医師の診断を受け、試合出場に支障のないことを確認のうえ出場すること。<br>(5) 大会参加にあたって、各チームはスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませること。<br>(6) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、当運営委員会において協議のうえ、対処する。中断・中止・延期することがある。<br>(7) 眼鏡：プラスチックまたは、類似の素材でできた最近のスポーツメガネ以外は認めない。さらにフレームレス及び脱落する可能性があるると審判が判断した眼鏡は認めない。<br>(8) 意見交換会・宿泊及び弁当については別途案内する。 |